



2022年7月26日

日本鉄道労働組合連合会

ジェイアール・イーストユニオン第10回定期大会

## 次代につなぐイースト運動の力強い展開を！



ジェイアール・イーストユニオンは7月15日、東京都港区内の田町交通ビルをメイン会場に、仙台会場と新潟会場をZoomにて結び、ハイブリッド形式にて第10回定期大会を開催した。スローガンには、「組織結成の原点に返り、私たちの掲げた『会社と共に』を職場から具現化し、次代につなぐイースト運動から組合員と家族の幸せを実現しよう！」を掲げ、

2022年度運動方針や新たな役員体制を確立した。

主催者代表挨拶において菅野一位中央執行委員長（JR連合副会長）は、第26回参議院議員選挙への取り組みに謝意を述べつつ、「全体主義的な組合はJR東日本にいない。民主化闘争の完遂まで取り組んでいく」という決意を示し、「民主化闘争開始から23年が経過し、今ほど我々が求められている時はない。会社が変革2027に向けて施策を展開する中、職場の仲間へ寄り添い、ここから企業内労働組合の基盤を再構築していく運動を実践しよう」と呼び掛けた。

来賓として、JR連合からは荻山市朗会長が代表して挨拶に立ち、「JR北海道やJR貨物で新規加入が相次いでいるが、自分でJR総連の実情を調べて加入したと聞く。今こそJR連合の労働組合としての実感ある取り組みを見せるべきだ。社友会では限界があり、労働組合の重要性を発信していく」と菅野委員長挨拶に呼応する形で決意を述べた。

さらに、ジェイアール・イーストユニオンが支援し、本年7月10日投開票の第26回参議院議員選挙で見事当選した川合孝典参議院議員、および2019年7月の第25回参議院議員選挙にて当選した田村まみ参議院議員も来賓として出席のうえでそれぞれ挨拶し、特に川合議員からは直近で実施された参院選での支援について深く感謝の言葉が述べられた。



経過報告がなされた後、2022年度運動方針が提起された。質疑については、コロナ禍に鑑み、時間短縮のため7名の代議員から事前に出された春闘や組織、変革2027等への対応に係る20件の質問・意見が発言集として配付され、併せて執行部からの答弁書も配付された。集約答弁は秋山順一中央執行副委員長が担い、「春闘交渉など会社に対する要求は、仲間の想いをしっかりと腹に収めて取り組んでいく。組織一丸となって、何事にも前向きに取り組んでいこう」と力強く呼びかけ、全議案が満場一致の承認を受けた。

役員人事では、秋山中央執行副委員長と添田寿男中央執行副委員長が退任し、新たに中央執行委員であった斎藤弘昭氏が中央執行副委員長に就任した。

最後は、菅野中央執行委員長が決意を新たに、団結ガンバローで定期大会を締めくくった。